

令和3年度いきいきちばっ子オリジナル弁当コンクール

千葉県教育委員会では、食に関する学習ノート「いきいきちばっ子」を用いた学習の集大成として、子どもたちが自ら弁当づくりを体験することにより、食への関心を高め、食べることを見つめ直し、食生活の改善を図るために、小学校5・6年生を対象にオリジナル弁当コンクールを実施しています。

今年度のコンクールでは、個人の部で優秀賞5点、優良賞15点、佳作95点。団体の部では、優秀賞2点、優良賞6点が選ばれました。

個人の部 優秀賞



松戸市立北留小学校 6年

門脇 由希乃さん 「SMILE. SMILE弁当」

私は、みんなを笑顔にするためにお弁当を作りました。大好きなチーバクんとお花畑をイメージして、千葉県の魅力をアピールしました。千葉県や松戸産の野菜や果物、お米を使うことで地元への愛が高まりました。

卵焼きと肉そぼろのおにぎりをひまわりに、野菜の肉巻きやオクラも断面をお花に見立てました。栄養バランスが良く、見た目が鮮やかになるように工夫をしました。これからも元気の出るお弁当を作りたいです。



松戸市立和名ヶ谷小学校 6年

石原 彩羽さん 「オリンピック応援弁当」

昨年の夏、東京でオリンピック・パラリンピックが開かれ、選手の人たちが頑張れるようなお弁当を作ろうと思いました。おにぎりをバスケットやサッカーのボールのようになり、おかずの彩りを考えたりして、たくさんの千葉の食材を使いました。

今回、優秀賞に選ばれビックリしましたが、とても嬉しかったです。これをきっかけに、家族がおいしいと言ってくれるような、私の愛情がたくさんつまった栄養満点のお弁当を作りたいと思いました。



船橋市立船橋小学校 6年

佐原 千捺さん 「コロナに負けるな!!地産地消弁当」

優秀賞をいただき、とても嬉しいです。小学校を卒業する前に良い思い出ができました。ありがとうございました。

私は、料理をすることが大好きで、お姉ちゃん・お兄ちゃんのお弁当作りが楽しかったので応募しました。このお弁当は、「地産地消」千葉県の食材を使って、栄養・いろいろ・食材の組み合わせを考え、コロナに負けないで欲しいと願いをこめ作りました。これからも、楽しくお弁当を作りたいと思います。



船橋市立薬台小学校 5年

鹿又 愛花さん 「家族と夏の思い出作り」

私は、お弁当のコンクールで優秀賞をとれると思っていなかったのが嬉しかったです。

今の時期はコロナウイルスの感染症で旅行に行くことができません。そこで、私は、家族に夏の気分を味わってほしいと思い、このお弁当を作りました。食材は、千葉県の名産品の梨や落花生、船橋市の名産、小松菜とにんじんなどを使って調理しました。夏は、お弁当が傷みやすいので梅干しを加えました。



船橋市立薬台小学校 5年

長町 陽南さん 「家 (Yeah!) ピクニックだ!全員集合」

優秀賞を受賞出来て、とても光栄です!嬉しいです。

お弁当を作ろうと考えたきっかけは、家族とゆっくりしている時に、コロナであまり外出ができないから「家でピクニックをしてみよう」と話したからです。

お弁当を作っている時は、みんなが楽しく食べられるようにしたいと思いながら作りました。出来上がったお弁当を家族が喜んで食べてくれました。家族の嬉しそうな顔を見たいので、またお弁当を作りたいです。



団体の部 優秀賞



柏市立柏第五小学校 6年
塩野 舞さん 小野 愛結羽さん
「みんなで食べよう!」

千葉のレインボー

たくさんアイデアを出し合い協力して作ったことで、納得のいくお弁当ができました。特に地産地消を心がけました。千葉県産の食材にチーバクんの旗を立てる工夫をしました。また、虹のような彩りのよい盛り付けにすることで、みんなが「食べたい!」と思えるお弁当にしました。お弁当作りを通して、私達はさらに仲良くなりました。夏休みに最高の思い出ができた上に受賞できてとても嬉しいです。また二人で料理に挑戦したいです。



「いすみ市立大原小学校 6年
渡邊 美咲さん 鶴岡 紗和さん
「みんなで食べると美味しさUP!!
再会を祝うHAPPY弁当」

私たちは、仲良しのいとこ同士です。毎年大勢の親せきと集まることを楽しみにしていますが、この2年間はコロナの影きょうで集まることができていません。いつかまたみんなで集まることのできた時に、みんなに食べてもらいたいお弁当を作りました。

大切な人たちの喜ぶ顔を思い浮かべながら2人で楽しく作ったお弁当が、優秀賞に選ばれたことをとてもうれしく思います。